

改善計画書

施設名 エンジョイウェルヴィレッジ

(作成年月日 令和 8年 4月 23日作成)

改 善 事 項 等									施設コメント
(施設として続ける点)	1	利用者を尊重した支援を、日々心掛けている。							
	2	関係機関との連携を密に行っている。							
	3	定期的に保護者面談や保護者会を開催している。							
	4	スタッフに法定研修や、スキルアップ研修等を行っている。							
	5	地域に開かれた事業所としての取り組みを行っている。							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当	
すぐ実現したいこと	1	スタッフの役割を明確にしていく。	スタッフが、所属感を見いだせ、スタッフ一人一人が主体的に行動ができるようになる。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①役職陣営に周知後、どのような委員会を作成していくかを話し合い、スタッフに落とし込んでいく。 ②委員会設置後、どのようなスケジュールで運営していくかのプラン作成と、実行に移す。	全スタッフ	
	2	苦情解決を明確化していく。	『ご意見対応』と表記し、利用者様やご家族、地域が意見を述べやすい雰囲気をつくる。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①フォームやQRコードを作成し、ホームページや紙媒体で、周知をしていく。 ②匿名とし、意見を述べやすいようにする。	統括管理責任者	
	3	更なる安全管理を構築していく。	避難訓練等の様子を公開し、保護者の安心につなげる。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①スタッフのみの避難訓練と、利用者様の避難訓練の予定を公開する。 ②実際の様子を、インスタグラムやたよりで発信する。	担当スタッフ	
	4								
	5								
工夫すればできること	1	保護者会に参加できなかった方への対応。	保護者会に参加できなかった保護者も、保護者会の内容を知ることができる。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①保護者会に参加できなかった方の把握。 ②保護者会の内容をまとめ、紙媒体や公式ラインで周知をする。	統括管理責任者	
	2	ボランティア受け入れを積極的に行っていく。	当センターが地域に周知され、地域全体で子どもを見守っていける。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①インスタグラムやホームページを活用して、周知をしていく。	ユニットリーダー	
	3	保護者会に、卒所された保護者を招いて体験談などを話してもらう。	保護者の安心や、子どもの将来への見通しがもてる。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①保護者が何を知りたいのかの把握をする。 ②卒所された保護者に依頼をし、実行に移す。	統括管理責任者	
	4								
	5								
予算化しないといけないこと	1	外出行事や、年間を通じて野菜などを育てる。	利用者様が、季節を感じたり、食育につなげる。	1年	2026年 5月1日	2027年 3月31日	①まずは、無料でできるものを検討して様子をみていく。 ②必要であれば予算化をしていく。	保育士・児童指導員 専門職員・栄養士	
	2	外部研修への参加。	社内研修だけではなく、外部講師を招いたり、外部研修に参加できる機会をつくる。	2年	2026年 5月1日	2028年 3月31日	①地域で活躍している講師と連絡をとり、依頼をする。 ②外部研修の情報を得る。	全スタッフ	
	3								
	4								
	5								